

僕のお買い物 ストーリー&ヒストリー

宮城 鷺見俊雄



最近ではバリアフリー化が進み、エレベーターとかトイレとも整備され、お店やお客さんの理解も深まり安心して楽しくお買い物ができるようになりました。僕の日常生活に必要な買物は、家の近くにある生協とお酒の量販店、活動の帰りに寄るスーパーでしています。ヘルパーがいる時は、ちょっと多めに購入し（お酒とかね）、一人の時は少なめにしています。

一人で買い物する時、心がけていることがあります。それは無理をせずに、なるべくお店の人に手伝ってもらうことです。コミュニケーションをとりあって理解が広まればバンバンザイですから。でもメチャ半額と限定品に弱いのが、玉に瑕です。が…。

そんな僕のお買い物ヒストリーを紐解いてみますね。

あれは小学5年生の時でした。当時僕は施設にいて、夏休みと冬休みしか家に帰ることができず、外出もすごく制限され

ていましたが、急にメガネを作らないといけなくなり、眼科とメガネ屋に行くために外出が認められました。施設のバスで眼科に向かい、そこで母と合流して眼科とメガネ屋で検査等を受け、近くのデパートで昼食を食べました。僕はもうそれだけでもうれしくてたまらなかつたんですが、昼食後に施設に帰るバスの時間まで時間があつたのでデパートで待つことになりました。当時、野球大好き巨人好き少年だった僕は、母にユニフォーム売り場に連れて行ってもらい背番号1のユニフォームをおねだりし、そしてめでたく念願のユニフォームをゲットしてしまつたのでした。その時の状況は半世紀以上前になりますが、今でも鮮明に思い浮かぶ僕の大切な思い出の一コマです。

そんな母も今年9月に米寿を迎え、兄弟姉妹4人でプレゼントを贈ることになりました。兄弟姉妹みんな離れているので、ラインでやりとりしながらどん

なプレゼントがいいか決めてきました。そのやりとりもとても楽しいひとときでした。

今、作業所の運営にかかわっていて、仲間たちの制作したものを、どう商品化し、販売につなげ心地良くお買い物していただき、それをお給料に反映させられるのか、職員とともに悪戦苦闘中です。商品になるまでの過程や流通なども含め、手にするまでに多く人々がかかわり、いろんなストーリーがあり成り立っているんですよ。

たかがお買い物、されどお買い物ですね。みなさんはどんなお買い物ヒストリーをお持ちでしたか？ そしてどんなストーリーをお望みですか？ 大切な人へのすてきなお買い物。相手の笑顔を思い浮かべながら…。自分なりのお買い物ストーリーをこれから楽しくしていけたらいいですね。

でもどうかこの物価高だけはごめん被りたい、なんとかしてほしいです!! (すみ としお)